



時国英則さん(写真左)ら「有漢じいちゃんズ」のメンバー

地域の伝統を子どもたちへ

有漢元気じいちゃんズ(有漢町)



昨年のコトコト馬づくりの様子

子どもたちに、しめ縄づくりや有漢地域に昔から伝わるわら細工のコトコト馬づくりを教えている「有漢元気じいちゃんズ」。代表の時国英則さん(79)らが中心となり、地域のおじいちゃんやおばあちゃんたちが、かわいい「孫」たちの指導に当たっています。

グループ名は、平成17年の「子育てふれあいフェスティバル」に、体験活動コーナーの「コトコト馬づくり」で参加した時に命名。名前のとおり、元気で活動的な皆さんです。

昔、婚礼が自宅で行われていたころに行われていた風習から名が付いたコトコト馬。婚家の酒宴が始まると、ほかおむりで顔を隠して訪れ、わらで作った馬を縁側に置き、「コトコト」たたいて隠れて待ち、婚家がお礼にと縁側に置いた酒などを受け



馬は3種類あり、顔の形が異なる。左は農耕馬をかたどった「どさんこ馬」、中央が婚礼で用いられていた昔からの馬。右が近年の「コトコト馬」。

取って帰ったそうです。また、正月行事の「鉞初め」※という豊作祈願にも用いられていました。現在はこうした風習がなくなり、コトコト馬は縁起物として飾られるようになっていきます。

今年も、今月17日に子どもたちにコトコト馬づくりを教えます。

「近ごろは、わらをなうことがないからねえ。子どもたちも珍しがって作り始めるけど、仕上げるまではなかなか難しいみたいだなあ」と秋葉正友さん(67)。おじいちゃんたちの手を借りて何とか完成、となるようです。

元気なうちは続けていきたいね。自分たちも楽しませてもらっているし、地域の伝統の後継者が育つのはうれしいこと」と時国さん。

来月14日には、子どもたちが自分で作ったコトコト馬を縁側に置き、お菓子をもらう体験行事も行われます。

※旧暦の1月11日、鉞とコトコト馬を持ち、飼っている牛馬を連れて「ヤレポーヤレポー」と叫びながらその年の苗代田へ行き、耕し初めをして豊作を祈念した。

「ヤレポー」は「八重穂」がなまったもので、豊作を祈る言葉。



吉備国際大学 国際環境経営学部環境経営学科に いま求められている 「食農経営コース」が誕生!

来年4月、国際環境経営学部環境経営学科に、新しく「食農経営コース」が加わります。

「21世紀は食料と環境の世紀」といわれ、「資源・エネルギー」とともに、人類にとって「食」は大きなテーマとなっています。「食」の多くを海外からの輸入に依存する日本の食料自給率は40%を割り、また最近では有害物質の混入など食の安全保障さえも危ぶまれています。

「食農経営コース」では、「食と農」に関する基礎科目に加えて、「食と農」「環境と経営」を柱としたカリキュラムを編成。食料・農業生産・環境・資源問題を総合的・体系的に学び、食料の「生産・加工・消費・リサイクル」の食農経営の総合的マネジメント力を備えた人材を養成します。

特に、高梁地域のピオーネやトマトをはじめとする特産農産物、乳牛の酪農生産物などの生産・加工現場でのフィールド実習を通じ、実践力を養成します。

「食と農と環境」をキーワードに、地産地消、集落営農など地域の特徴を生かした中山間地域のまちづくりと活性化に、新しい提案ができる人材を育成します。

国際環境経営学部 環境経営学科

- 食農経営コース (新設)
- 環境経営コース
- 知的財産経営コース
- 実践IT経営コース

※2年次に希望コースを選択します。

■問い合わせ 高梁学園入試広報室(フリーダイヤル 0120-25-9944)

編集後記

今年も残りわずかとなりました。今年こそは早め早めに仕事に取り掛かり、余裕を持って広報紙をつくらうと思っていたはずなのに、振り返ってみると毎月のように時間に追われていた気がします。広報紙づくりに決まった答えがないので、工夫しようと考えれば考えるほど時間がかかってしまうということもあるのですが、もう少し気持ちにゆとりを持って編集ができればと思います。

広報担当3人、一方向的に行政情報をお知らせするのではなく、分かりやすく、また皆さんに問いかけ一緒に考える広報紙となるよう試行錯誤で紙面づくりに取り組んでいます。まだまだ十分ではありませんが、皆さんに「広報紙が変わったな」と思っていただけのように頑張りたいと思います。来年も、「広報たかはし」をよろしくお願ひします。(YM)

まちの伝言板

年越しは「ニューイヤー花火」で!



日名二十日会
会長 渡辺裕文さん(40)

カウントダウンで新年を迎え、108発の花火が打ち上げられます。
成羽町日名地区と同地区出身者で構成する「日名二十日会」が、今から約15年前、地元の神社へ初詣でに訪れる人たちに楽しんでもらおうと花火を打ち上げ始め、年越しそばも振る舞っています。
大神楽大会や盆おどり、渡り拍子など、この地区で行われる

イベント時に、地域を盛り上げる先導をしている日名二十日会。最近では会員の減少もあつて、会員の奥さんや子どもたちなど家族ぐるみで活動しています。「低予算のためご期待に添えないかもしれませんが、気軽に花火を見に来てください。そばを食べたら体も温まりますよ」と渡辺さん。

詳細は次のとおりです。

▽日時 1月1日(木) 午前零時
〜(そばの振る舞いは大晦日午後11時ごろから)
▽駐車場 日名交流館かぐらぐらウンド
■問い合わせ 日名二十日会・会長 渡辺さん (TEL 090-4692-4310)